



第2号

発行所
公益財団法人
全国学校農場協会

東京都渋谷区
円山町2-20

令和3年度農業教育功労者表彰及び感謝状受賞者紹介
長年にわたる農業教育への御尽力に感謝いたします。

***北海道支部(敬称略)**
長屋慎一 岸田隆志 仁平
昌久 二木浩志 柴田政二
村田博文 福井英樹

二 宮澤芳美 櫻井孝洋
澤崎忠志 宇津山宜浩

*東北支部

円子昭浩 黒瀧康男 山谷
芳弘 栗木利章 三浦正志
田中伸司 神山秀市 小田
島弘通 平山隆 榎原健
後藤玄伸 三好壯明 大和
田範雄 松崎勝則 伊藤重
幸 内田正則 霜重浩之
角田廣和 大和田行俊

*近東支部

鈴木尚 鈴木得正 三浦克
彦 亀嶋浩之 古田晴康
三浦孝正 榎戸喜成 吉田
勇人 村井真 岩堀勝弥
田中治 田牧明浩 中村訓
中村正人 里田亨 近藤博
巳 中井哲也 西島淳太
中川ふみよ 井上升二 原
田真自 本郷繁一 岡田泰
明 西本洋一 和田元男
小崎雅基

*中国支部

吉田要 佐々尾隆 天川敏
之 山田徳明 山根俊一
長島康成 唐島一将 吉川

靖 植田義隆 野崎浩之
原敬一 下山眞 宮垣海山
舛宗新悟 篠原博徳 妹尾
秀史 小松啓二

*四国支部

糸川健二 棚田英雄 織野
真成 成高久豊 福泉安
川崎一志 渡邊耕司

*九州支部

青木研二 岩屋恭士 橋本
輝夫 林田浩樹 村上正嗣
國武幸一 矢野和史 矢部
博昭 薦田源一 青木久生
久富光祐 百武啓文 白武
博義 原口三徳 尾崎正治
渡口健二 木庭敬勝 村上
正則 森山大介 古閑比呂
志 近藤忠博 永楽浩一郎
吉野長人 多田崇一 川越
寛 岡本淳 日高良治 東
佳寿 前畑修一 井上逸朗
本村信一 伊地知亮二
具志堅興律 本永直利

*感謝状授賞者の紹介

農業教育功労者表彰の基
準は満たしていないが長年
にわたって農業教育にご尽

実験実習講習会実施報告

九州地区

会場：農研機構 九州沖
縄農業研究センター
福岡県立福岡農業高等学校
白津敬一

8月2日(月)・6日(金)の
5日間、農研機構九州沖縄
農業研究センターにて第65
回農業実験実習講習会九州
地区が開催された。

「農業と環境」をテーマと
して、スマート農業入門か
らその実証事業「阿蘇イチ
ゴ輸出」紹介、AIやロボ
ット活用実例、輸出に関わ
るイチゴの成分分析と輸送
評価実習、イチゴ・アスパ
ラガス施設最新栽培研修と
園芸施設の環境測定に関わ
る測定実習、自作WiFi

施設用小型センサ制作、人工光型植物工場体験実習、タマネギの直播技術と播種機開発(3Dプリンタ実習)と受講者は初めて体験する講習内容で大変大きな成果となった。



(イチゴ成分分析実習)



(植物工場実習 植え付け)

第8回農業女子フォーラム九州・福岡大会

開催報告

大会実行委員長 田中環 (福岡県立遠賀高等学校)

農場長)

令和3年10月22日、福岡県福岡市アクロス福岡国際会議場にて第8回全国農業女子フォーラム九州・福岡大会が行われました。

当初は、九州各所から多くの方が参加する予定でしたが、参加型とリモート型のハイブリットの開催となりました。

開会式では、主催者代表の日置理事長、来賓代表の農林水産省経営局就農女性課長よりリモートで挨拶をいただきました。

実践発表は福岡県立糸島農業高等学校の「根こぶ病」に関する発表で、地域と連携しての研究を高校生らしく元気に発表しました。続いて福岡県久留米市で果樹園とカフェを経営されている中村美沙様に、果樹農家としての思い、経営の実際、これからの展望について発表していただきました。

パネルディスカッションでは、コーディネーターの中村弥和様がテンポよく進行され、農業経営者3組、九州各県の高校生(福岡県

以外はリモートにて出演)、農業大学校生、専攻科生、農業教員のパネラーが活発に意見交換を行いました。農業の先輩方の暖かいエールが印象的でした。

記念講演は、(株)愛しとーとの岩本初恵社長の講演でした。農業を志す生徒への熱い応援メッセージをいただきました。

ハイブリッド開催という新しい試みでしたが、多くのご協力を得て所期の目的は達成できたと実感しています。今後の研修会等の運営に新たな魅力が誕生したようにも思えました。

本フォーラムで伝えたかった「農業の将来に対し夢を描いてもらうこと」「女性だからできないということ」だけでなく男女関係なく農業を志す人が力を合わせて農業を盛り立てること」が一人でも多くの人に伝わり、支援の考えが芽生えたのならば幸いです。

来年度は、北海道で開催されます。本フォーラムの趣旨を考えると、農業を志す生徒や学生にとって非常

に重要な会であると考えます。多くの人に伝えることができるこのハイブリッド形式を進化させていただき、盛大に開催されることを願っております。

最後に、本フォーラムは実行委員会にとっても成長の機会となりました。女性農業教員が中心となって何かをするという機会が九州ではこれまでなく、今回、企画運営に携わらせていただき、その大変さを実感することの楽しさを実行委員一同感じることができました。貴重な機会をいただきありがとうございます。

九州各県からリモート参加した生徒



九州各県からリモート参加した生徒



人類が直面する問題に答える。それが実学。

温暖化、資源枯渇、食料危機、絶滅危惧種の増加など研究対象は農学を起点に、あなたが想像する以上に広がりを見せています。このような問題に答えていく学びや研究を在学中に体験することを実学と呼んでいます。人類が直面する問題に答えていく人材を世の中に選んでいくことが東京農大の普遍的な使命なのです。



東京農業大学 TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE 〒156-8502 東京都目黒区稲佐1-1-1 http://www.nodai.ac.jp

農学部

応用生物科学部

生命科学部

地域環境科学部

国際食料情報学部

生物産業学部